

令和4年度第1回四街道市環境審議会会議録（概要）

日 時 : 令和5年2月2日（木曜日）
14時30分から16時20分まで

場 所 : 四街道市保健センター3階 第2会議室

委員出席者 : 加藤会長 原副会長 青木委員 鈴木委員 土屋委員
中村委員 濱田委員 半野委員 矢野委員 井上委員
小野委員 松川委員 三村委員

委員欠席者 : 有賀委員

事務局出席者 : 環境経済部：麻生部長 青木副参事
環境政策課：菅谷係長 常世田係長
谷口主事 林主事

傍 聴 人 : 0人

———会議次第———

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 四街道市長あいさつ
4. 委員紹介
5. 職員紹介
6. 会長選出
7. 会長あいさつ、副会長指名
8. 副会長あいさつ
9. 諮問
 - ①四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）について
10. 議事
 - ①四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）について
11. その他
12. 閉会

———会議内容———

事 務 局	： 【開会】
	——— 【委嘱状交付】 ———
市 長	： 【市長あいさつ】
麻 生 部 長	： 【委員紹介】
麻 生 部 長	： 【職員紹介】
市 長	： 【会長選出】
加 藤 会 長	： 【会長あいさつ、副会長指名】
原 副 会 長	： 【副会長あいさつ】
市 長	： 【四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）について諮問】
	——— 【市長退席】 ———
事 務 局	： 【会長へ議事進行のお願い】
加 藤 会 長	： 【会議を公開することの確認】
加 藤 会 長	： 【傍聴者の確認】
事 務 局	： 【傍聴者がいないことの報告】
加 藤 会 長	： それでは、会議次第に従いまして、これより議事に入りたいと思います。今日の議題は、四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）についてです。それでは、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	： 【資料に基づき説明】
加 藤 会 長	： ただいま、事務局より説明のありました四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）について、ご意見等がありましたら挙手してお願いします。
三 村 委 員	： 家庭における CO2 排出量の算出は、千葉県データのデータと世帯数を基にしているとなっております。このような計算方法だと、市民が CO2 排出削減について何もしなくても、データを使って CO2 排出量が算出されるので、市民がどれだけ排出を削減したかということに繋がりにくいのではないかと思います。 また、廃棄物について伺いたいのですが、現在四街道市の下水道は花見川終末処理場に流しており、汚泥は焼却されていると思いますが、この汚泥の焼却に関わる CO2 排出量はこの計画（案）に含まれているのでしょうか。
事 務 局	： まず、廃棄物部門について、下水道汚泥の焼却に関わる CO2 排出量については、この計画（案）には含まれていません。あくまでも市クリーンセンターで焼却されているごみの量を計算に用いています。これは、花見川終末処理場に係る CO2 排出量は千葉市における排出として計算

	<p>されるためです。このため、例えば浄化槽汚泥やし尿の処理に係る CO2 については、四街道市は佐倉市に搬入して処理しているため、佐倉市における排出として計算されることとなります。</p> <p>次に家庭部門についてですが、CO2 がどのくらい排出されているかというデータと、各家庭での CO2 排出削減に関する活動とを結びつけた議論がされないという実情があります。この点については、本計画を進めていく中で、例えば、今年度実施している省エネ家電製品等購入補助金事業のような事業において、省エネ家電に買い替えることでどのくらい電力使用量や CO2 排出量が減るのかというデータをお示しし、市民の皆様様に「買い替え」という CO2 排出削減の活動を行っていただけるように出来ればということも考えています。</p>
<p>三 村 委 員 : 今の説明によれば、下水道汚泥の焼却について、四街道市は関知しないということでしょうか。しかし、汚泥の焼却には多くの燃料も使用され、排出される CO2 も多いはずですが、例えば、汚泥を焼却せずに肥料化すれば、少なからず CO2 排出削減に反映できると思いますが、そのような場合でも関知しないということになるのでしょうか。</p>	<p>また、行政の計画書等の文書において「行います」と書かれていることが少なく、「検討します」等の表現に留まっていることが多いと感じています。この計画（案）にもいくつか見られました。この表現は具体的にどういうことを表しているのでしょうか。</p>
<p>事 務 局 : この計画（案）は、あくまで総論として目安を示したものであり、この計画の下に、それぞれの施策を実施するという位置づけで捉えていただければと考えています。他市町村や県の計画においても、「このようなことを考えています」という目標で計画書自体は結び、その上で具体的な施策を実施していくこととしています。</p>	<p>また、下水道等については全く関知しないというわけではなく、CO2 排出量の計算としては千葉市または佐倉市のものとして行いますが、全体として CO2 排出量削減に取り組み、市民の皆様にもご協力いただかなければならないと考えています。</p>
<p>井 上 委 員 : 21 ページに CO2 排出量の 2030 年度目標として、各部門の 2013 年度比の増減が記載されていますが、その算定根拠をご説明願います。</p>	
<p>事 務 局 : 各部門の算定根拠に当たるものは、数値化していません。</p>	<p>なお、国の地球温暖化対策計画において、分野別及び全体の CO2 排出削減目標が示されています。国の計画における全体の CO2 排出削減率に基づいて市全体の削減率を設定し、国の計画における施策等が実現されれば、国が目指す削減目標を市においても実現できるとの見込みから、</p>

	<p>国の計画における分野別削減目標に近い値で市の各削減目標を設定しています。</p>
井上委員	<p>： この計画（案）は、総論としては良いものだと思いますが、あまり具体的な施策についての説明が無いので、イメージが湧かないと思います。仮に、目標が達成できなかったという終わり方になってしまえば、ただ計画しただけになってしまわないかという懸念があります。先ほど事務局からの説明にあったように、この計画の下に定量的な目標を設定して施策を実施しなければ、いくら計画が立派でも役に立たないのではないかと懸念します。</p>
事務局	<p>： 県の地球温暖化対策実行計画では、進捗状況として「太陽光設備設置件数」や「エネファームに対する助成額」等の定量的項目を発表しています。市においても、「住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金」が活用され設置された設備の数等の実績を、進捗状況として定量的に発表していければと考えています。</p>
井上委員	<p>： しっかりと目標を立て、進捗管理を行い、実施した施策の効果についてよく分かるようにしてください。</p>
小野委員	<p>： まず、この計画（案）を作成するに当たり、みどりが多いことや里山環境が残っている等の市の特性は考慮されたのでしょうか。可能であれば、豊かな里山の自然はどこにでも残っているわけではないので、緑地をどう保全していくかという点についても記載してほしいです。</p> <p>次に、個人的な感覚として、農地が減っていると思っているので、耕作放棄地対策についても盛り込むとよいと思います。</p> <p>また、質問したいことが1点あるのですが、地球温暖化防止の対策としてソーラーパネルが取り上げられることがあります。市内でメガソーラーに関する計画が浮上した際に、これを把握するという事は可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>： まず、緑地の保全等については、計画（案）の28ページに記載し、森林や竹林を整備し、CO2吸収量の向上に努めるとともに、市街化調整区域における緑地の保全等に取り組むたいと考えています。具体的には、本市には森林環境譲与税が毎年約1,000万円程度交付されており、その中での取り組みとして、森林保全に係る講座を開催し、森林保全ボランティアの養成を行っています。今後は、市内に点在する山林を保全するため、講座に参加し知識や技術を習得した方のご協力を得ながら、森林保全の仕組みを作り、毎年下草刈りや枝打ちを行えればと考えています。</p> <p>次に、メガソーラーについては、現在のところ建設計画は持ち上がっていません。ただ、市内で小規模にソーラーパネルを設置している事業</p>

	<p>者があります。また、計画（案）の 27 ページに再生可能エネルギー等の設備への助成について項目を立てていますが、こういった計画を策定する以上、来年度以降の助成件数を増やしていかなければならないと考えています。</p>
<p>小 野 委 員 :</p>	<p>今あるみどりを可能な限り減らさないということと併せて、市内のヤードについて、その数が減ってきていると思っていましたが、先日新聞で「四街道はヤードに関する世界の中心」という記事を見かけました。市の郊外の里山環境の中に塀で仕切られたヤードが点在しているというのは市のイメージダウンに繋がりがねないので、ヤードに関する対策も含め、郊外の自然を残すような施策をお願いします。</p>
<p>青 木 委 員 :</p>	<p>まず、計画（案）第 5 章について、四街道市として何ができるかということをしっかり示すべきであると思いますが、グリーンボランティアに関する取組みを行っていることや、市内に県知事賞を受賞した里山の活動に取組む団体があること、市環境美化表彰を受賞している個人や団体がこれまでに数多くいること等、既にある「四街道市らしさ」を取組みの記載に反映させ、強調していくとよいと思いました。</p> <p>次に、計画の進捗管理や施策の効果検証について、しっかり行わなければならないとは思いますが、一方で難しさがあるということも事実だと思えます。他自治体においても苦労しているようですが、大学等の学術機関の知見も参考にして実施を試みてもよいと思いました。これまでの話の中では、市の補助金事業の実績を進捗状況として把握するということを考えているということでしたが、このような試みの積み重ねだと思えます。</p> <p>最後に質問ですが、計画（案）の 13 ページにおいて、計画の見直しについて触れていますが、具体的に何年を想定していますか。新型コロナウイルス等の影響で、今後も人々のライフスタイルに変化があることが考えられますが、計画の見直しが 5 年等の長い期間であると、目標値が市民の方の感覚にそぐわないものになってしまう可能性があるのでは、私としては、3 年等の短い期間で見直しを実施する必要があるのではないかと考えます。</p>
<p>事 務 局 :</p>	<p>まず、見直しについては、CO2 排出削減に係る目標を国の計画に基づいて掲げており、国の計画に変更があれば、市としても目標値を再設定しなければなりませんので、臨機応変に対応したいと考えています。</p> <p>また、効果検証についてですが、令和 5 年度に諮問し、令和 6 年度に開始する予定の「第 3 次四街道市環境基本計画」に本計画を包含させることを考えています。この環境基本計画において、脱炭素等の地球温暖</p>

	<p>化防止に係る目標についても具体的に定めた上で、毎年効果を検証しながら進捗を管理するというを考えています。なお、地球温暖化対策については、国の計画で急遽 CO2 排出を 46%削減するという数値が設定されたこと、令和 2 年 7 月 28 日に市として「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことから、一足先に計画を策定したいと考えています。</p>
矢野委員	<p>： 計画（案）の 6 ページに記載された図について、凡例が無いので追記してください。</p> <p>また、県の地球温暖化対策実行計画（概要版）では、カラフルな図等も使用し施策について記載しています。この市の計画では、策定後に市民向けのパンフレットを作成する等の予定はあるのでしょうか。この計画書だけでは、市民が何をやったらよいかということが分かりづらいので、あるとよいと思います。</p>
事務局	<p>： パンフレット作成等については、市民向けのものと同業者向けのものを作成できればと考えています。また、市政だよりや市のホームページでの周知も、やっていただきたいこと等を具体的に示しながら、行っていきます。加えて、市の公式 YouTube チャンネルでの周知も行っていただければと考えています。</p>
原副会長	<p>： この計画（案）には、必要事項は網羅されていると思いますが、9 ページの国の動向について、気候変動適応法に関する記述を加えてもよいと思います。また、11 ページの図にある市の他計画について策定年月が入っているとよいと思います。加えて、第 5 章の取組みについて、具体的にゼロカーボンシティや里山等、市の特徴的なことについて書き込むとより分かりやすくなると思います。</p> <p>最後に、太陽光パネルについて、積極的に推進する取組みは非常に大切ですが、その先を見据えるという観点から、このパネルは廃棄物になると厄介な問題があるとのことですので、計画に盛り込む必要は無いかもしれませんが、あらかじめ対応を考えておくとよいと思います。</p>
事務局	<p>： 気候変動適応法に関しては追記します。</p> <p>また、太陽光パネルの廃棄物に関する問題については、あらかじめ準備していきたいと思います。</p> <p>22 ページ以降の具体的な施策については、この計画においては「目指すべき方向」を示し、今後策定する第 3 次四街道市環境基本計画において、具体的な数値目標等を示しながら、詳しい対応をしていきたいと考えています。</p>
井上委員	<p>： 2013 年度比で CO2 排出量を 46%削減するというのは、非常にハードルが高い目標であるというように思われます。46%削減というのは国の</p>

	<p>目標としてありますが、四街道市の目標としてこの国の数値に倣う必要は無いのではないのでしょうか。私としては、もう少し、市として目標管理しやすいものを設定してもよいと思います。</p>
事務局	<p>： 千葉県においても、県全体で CO2 排出量を 46%削減するという目標を立てているようで、この目標を反映した実行計画が出来つつあるようです。国も県も 46%削減するという目標を立てている中で、市としてもこの高い目標に挑戦するという決意の下、一自治体としてチャレンジし、市民の皆様にもチャレンジしていただきたいという思いでこの計画を策定したいと考えています。</p> <p>この目標を達成するために何ができ、皆様に何をしていただきたいかということについては、東京都のように、各家庭において太陽光パネルを設置したり、各家庭や事業所において再生可能エネルギー由来の電力や電気自動車を積極的に使用したりする等、環境負荷の少ない行動に変えていただくこと等が必要になると思います。</p>
三村委員	<p>： これまでは、主として CO2 について「排出量を削減する」という観点からの議論がされていますが、計画（案）28 ページに記載されているような、CO2 を「吸収する」という観点にも目を向けるべきだと思います。</p> <p>これからの大きな課題の 1 つとして、「バイオファーミング」が挙げられます。竹炭を用いたバイオ炭によるバイオファーミングの研究を、耕作放棄地が多くなってきている四街道市ではどのように取り組んでいくのか、ということについて検討していただくとよいと思います。</p>
事務局	<p>： バイオ炭については、農政部門と連携し、研究している団体の講演を聴く等の研究を行っていますが、現在の段階では、具体的にどのようなことをするという点までは検討が進んでおりません。しかし、CO2 を吸収するという施策についても、目標達成のためには非常に重要だと考えているので、この観点からの施策も出来る部分から始めていきたいと考えています。</p> <p>なお本市の場合、規模は大きくありませんが、山林自体は点在しているので、例えば浦安市のような、森林環境譲与税等を活用したカーボン・オフセットの取り組みを行うというようなことは難しいと考えています。まずは、四街道市の山林や休耕田について、どのように活用して CO2 排出量を削減するかという施策に取り組んでいきたいと考えています。</p>
三村委員	<p>： 実際のところ、カーボン・ファーミングについてはまだ難しい部分があるとは思っています。しかし、これからは食糧問題が切っても切り離せないものになると思います。こうなってしまうと、今までの農業では全くやっていけないと思いますので、この対応のためにも、バイオファ</p>

	<p>ーミングやスマート農業等を組み合わせたものを考えていただけたらと思います。</p>
	<p>—————【その他意見なし】—————</p>
加藤会長	<p>： ご意見が無いようですので、これまでに頂いたご意見についてどのような取扱いとなるか、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>： まず、内容として修正したほうがよい部分については、修正等を加えて、次回審議会にお示しします。</p> <p>また、「このような点に留意すべき」というご意見について、他の審議会の例によれば、ご答申いただく中で、附帯決議のような形式で「このような点には留意されたい」と市に対しお答えいただくことがあります。今回の議論の中では、進行管理に関する事、緑の保全等に関する事、市民や事業者に対する周知に関する事、具体的事業に関する事、が挙げられると思いますが、この取扱いについてはどのようにした方がよいでしょうか。</p>
加藤会長	<p>： ただいまご提案があったように、ご意見については附帯する形式で答申するという事でよろしいでしょうか。</p>
	<p>—————【異議なし】—————</p>
加藤会長	<p>： それでは、そのようにお願いします。</p>
事務局	<p>： それでは、事務局で答申の案を作成させていただき、会長と別途協議するという流れでよいでしょうか。</p>
	<p>—————【異議なし】—————</p>
加藤会長	<p>： それでは、こちらで確認を行います。</p> <p>以上で議事を終了します。その他についてですが、委員の皆様、または事務局から、何かありましたら挙手をお願いします。</p>
事務局	<p>： それでは、今後の審議会の開催日程についてご案内します。</p> <p>今年度第2回審議会の開催ですが、主な議題として、まず、本日委員の皆様から頂戴したご意見等をもとに修正した四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）（案）を再度お示しし、引き続き本計画の策定について協議していただき、今回の諮問に対する答申を頂きたいと考えています。</p> <p>また、第3次四街道市環境基本計画について、策定作業の具体的なスケジュールなどについてお示しし、ご意見等を頂戴できればと考えております。</p> <p>なお、開催の日時として、令和5年2月15日（水）14時30分からを予定していますので、よろしく願いいたします。</p>
加藤会長	<p>： ただいま、事務局から次回の審議会について説明がありましたが、何</p>

	かご質問等ございますでしょうか。
小野委員	： 私は昨年に公募委員に応募させていただいたのですが、その際に第1回目の会議は可能であれば11月と聞いていました。これが2月にずれ込んだ理由というのは何かあるのでしょうか。
事務局	： 第3次四街道市環境基本計画の策定作業に際し、業務委託契約をコンサルタント業者と締結しております。この四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）は職員が全て作成したのですが、CO2排出量等の数値に関するチェックについては、より専門的な業者に行っていただくのがよいと考え、当該コンサルタント業者にチェックのお願いをしました。 当初チェックをお願いした際の本計画（案）は、環境省マニュアルにおけるごく一般的な手法を採用し、千葉県の平均的な数値を使用していたのですが、この場合京葉臨海工業地帯の数値が加味され、CO2排出量が大きく算出されてしまいます。しかし四街道市は工場等がほとんど無い住宅都市であるので、実際のCO2排出量と算出結果が乖離するのではないかとの指摘がありましたので、CO2排出量の推計方法を変更し再計算を行った結果、当初予定していた時期からずれ込んでしまったという経緯があります。大変申し訳ございません。
	—————【その他意見なし】—————
加藤会長	： それでは、ご意見が無いようですので、事務局はそのように進めてください。
事務局	： 開催につきましては、改めてご通知申し上げますので、よろしくお願い致します。
	—————【その他意見なし】—————
加藤会長	： その他無いようですので、これをもちまして令和4年度第1回四街道市環境審議会を終了します。長時間にわたり、お疲れ様でした。
	【閉会】